



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2007年11月30日から2027年11月10日まで
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組 入 制 限	①投資信託証券、短期社債等、コマーシャルペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	第3期決算以降、毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

スパークス・アジア中東株式ファンド （隔月分配型）

運用報告書（全体版）

第109期（決算日 2026年1月13日）

第110期（決算日 2026年3月10日）

第111期（決算日 2026年5月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)』は、このたび、第111期の決算を行いました。
ここに第109期から第111期の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

＜ お問い合わせ先 ＞

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200（代表）

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
		円	円	%		%	%	%	百万円
第33作成期	97期(2024年 1月10日)	10,640	30	△ 0.5	1,795.2	△ 0.4	0.6	96.5	1,691
	98期(2024年 3月11日)	11,259	30	6.1	1,929.4	7.5	0.6	97.9	1,742
	99期(2024年 5月10日)	11,610	30	3.4	2,095.3	8.6	0.6	97.6	1,776
第34作成期	100期(2024年 7月10日)	12,720	30	9.8	2,311.1	10.3	0.5	97.2	1,933
	101期(2024年 9月10日)	10,821	30	△ 14.7	1,982.2	△ 14.2	0.6	97.0	1,637
	102期(2024年11月11日)	12,353	30	14.4	2,287.9	15.4	0.5	97.2	1,870
第35作成期	103期(2025年 1月10日)	12,267	30	△ 0.5	2,233.6	△ 2.4	0.5	96.7	1,839
	104期(2025年 3月10日)	11,764	30	△ 3.9	2,186.7	△ 2.1	0.6	96.6	1,737
	105期(2025年 5月12日)	11,583	30	△ 1.3	2,176.0	△ 0.5	0.6	96.7	1,706
第36作成期	106期(2025年 7月10日)	12,168	30	5.3	2,393.5	10.0	0.6	96.2	1,777
	107期(2025年 9月10日)	12,647	30	4.2	2,555.7	6.8	0.6	96.2	1,798
	108期(2025年11月10日)	13,301	30	5.4	2,801.1	9.6	0.5	95.2	1,857
第37作成期	109期(2026年 1月13日)	13,720	30	3.4	3,015.1	7.6	0.5	97.0	1,882
	110期(2026年 3月10日)	13,673	30	△ 0.1	3,041.1	0.9	0.5	97.7	1,832
	111期(2026年 5月11日)	15,740	30	15.3	3,554.3	16.9	0.5	97.6	2,087

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除くアジア太平洋地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

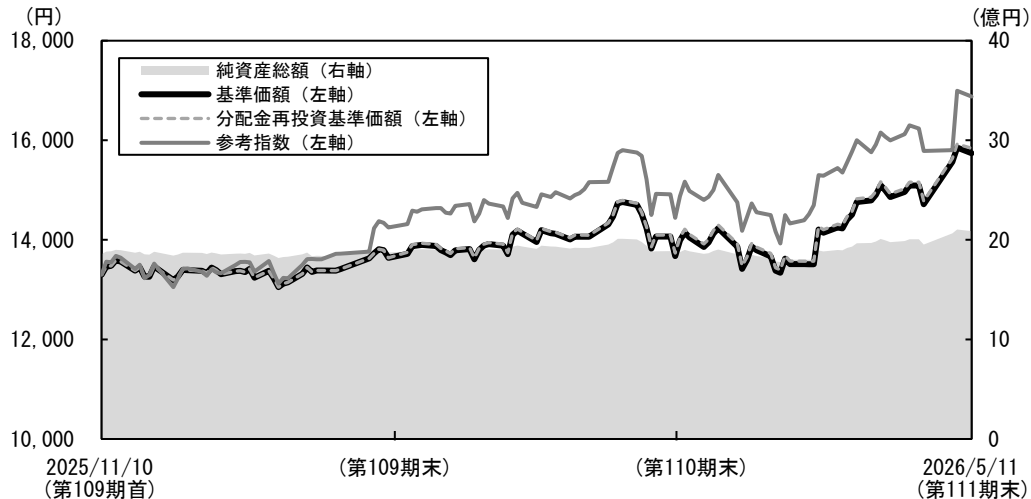
■ 当作成期間中の基準価額と市況等の推移

年 月 日		基 準 価 額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第109期	(期 首) 2025年11月10日	円 13,301	% —	2,801.1	% —	% 0.5	% 95.2
	11月末	13,391	0.7	2,827.4	0.9	0.5	95.3
	12月末	13,414	0.8	2,889.5	3.2	0.5	97.1
	(期 末) 2026年 1月13日	13,750	3.4	3,015.1	7.6	0.5	97.0
第110期	(期 首) 2026年 1月13日	13,720	—	3,015.1	—	0.5	97.0
	1月末	13,914	1.4	3,101.5	2.9	0.5	97.2
	2月末	14,760	7.6	3,327.4	10.4	0.5	96.6
	(期 末) 2026年 3月10日	13,703	△ 0.1	3,041.1	0.9	0.5	97.7
第111期	(期 首) 2026年 3月10日	13,673	—	3,041.1	—	0.5	97.7
	3月末	13,381	△ 2.1	2,983.6	△ 1.9	0.6	96.9
	4月末	15,091	10.4	3,418.9	12.4	0.5	97.5
	(期 末) 2026年 5月11日	15,770	15.3	3,554.3	16.9	0.5	97.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2025年11月11日～2026年5月11日)



第109期首 : 13,301 円

第111期末 : 15,740 円 (既払分配金90円)

騰 落 率 : 19.1 % (分配金再投資ベース)

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。

※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

※ 参考指数は期首(2025年11月10日)の基準価額に合わせて指数化しております。

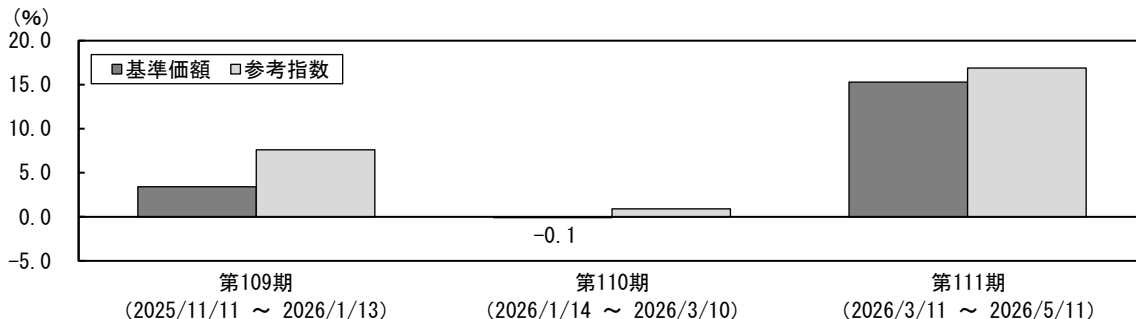
2) 基準価額の変動要因

韓国市場や台湾市場の上昇が基準価額の上昇要因となりました。一方、インド市場の下落が基準価額の下落要因となりました。

3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
- 下記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

(アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式)

当期のアジア市場のパフォーマンスは地域によって大きく異なり、特に韓国市場と台湾市場が大幅に上昇した一方、インドネシア市場とインド市場は下落しました。韓国および台湾市場は、AI(人工知能)に不可欠なメモリーチップの需給逼迫などAI関連需要の継続により上昇しました。一方、インドネシア市場は、米国の指数算出会社であるMSCI Incが同市場の株主構成の不透明さと浮動株比率の低さを理由に、算出する指数でのインドネシア銘柄の新規採用や組入比率の引き上げを凍結すると発表したことを受けて下落しました。インド市場は、投資家の志向が韓国および台湾市場のAI半導体銘柄に傾き、インド国内市場の成長シナリオが十分に評価されなかったことにより下落しました。

また、中東地域の市場は原油価格の上昇などにより上昇しました。

(国内債券・短期金融市場)

2016年2月より導入された「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」により国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなっていました。2024年3月よりマイナス金利が解除され利回りがプラスに転じました。しかし、政策金利は低いままであるため利回りは低い水準で推移しました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券を主要投資対象とし、期を通じて「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」をおおむね高位に組入れることにより、主にアジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いました。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに対してプラスに寄与した主な銘柄は、Samsung Electronics Co Ltd(韓国／情報技術)、Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd(台湾／情報技術)、First Abu Dhabi Bank PJSC(アラブ首長国連邦／金融)、Saudi Awwal Bank(サウジアラビア／金融)などです。

Samsung Electronics Co Ltdは、競合他社であるSK hynix社が過去2年間独占してきた広帯域メモリ(HBM)製品の開発が順調に進んだことから、2025年下期に入ってから力強い上昇を見せました。

Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltdは、製造に関して比類ない専門知識を有し、技術面で数世代にわたって他社に先んじ、主要なAI向け半導体メーカー各社からの受注を確保することで、企業価値を継続的に高めてきたことにより上昇しました。また、日本、米国、欧州で生産能力拡大に成功しており、今後数年にわたってリーダーとしての地位を保つことに疑問を差し挟む余地はないでしょう。

First Abu Dhabi Bank PJSCは、事業の基調が堅調であること、利ざやが底堅いこと、多様化した収益源を有し、資産健全性が改善しています。First Abu Dhabi Bank PJSCとSaudi Awwal Bankがいずれも上昇しており、長期的には、政府主導で石油依存からの脱却、石油以外のセクターへの投資、持続的成長の促進に向けた取り組みが進んでいることから、銀行セクターでは新たな事業機会が継続的に生まれていると考えます。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスに対してマイナスに影響した主な銘柄は、Lemon Tree Hotels Ltd(インド／一般消費財・サービス)、SBI Cards & Payment Services Ltd(インド／金融)、Bank Central Asia Tbk PT(インドネシア／金融)、Telkom Indonesia Persero Tbk PT(インドネシア／コミュニケーション・サービス)などです。

インドではLPG(液化石油ガス)と石油精製品が不足したことで、政府が家庭での調理と必要不可欠なサービスだけに優先的に割り当て、産業界への供給を抑制したため、経済の成長性、収益性、財政状況といった面で懸念が発生したことにより、Lemon Tree Hotels LtdやSBI Cards & Payment Services Ltdが下落しました。

インドネシアは燃料や肥料価格の高騰によってインフレ見通しに拍車がかかり、実質所得を圧迫するとともに、生産者および消費者の景況感が悪化したため、Bank Central Asia Tbk PTとTelkom Indonesia Persero Tbk PTが下落しました。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

< スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券を投資対象とし、期を通じて「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」をおおむね高位に組入れることにより、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式(これに準ずるものを含みます。)に投資します。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当ファンドは、隔月(奇数月、原則10日)に安定的な分配を行うことを目指しております。

第109期、第110期、第111期における分配金は、それぞれ1万口当たり30円(税込み)とさせていただきます。

なお、留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第109期 (2025年11月11日～ 2026年 1月13日)	第110期 (2026年1月14日～ 2026年3月10日)	第111期 (2026年3月11日～ 2026年5月11日)
当期分配金 (対基準価額比率)	30 (0.22 %)	30 (0.22 %)	30 (0.19 %)
当期の収益	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,666	4,679	6,685

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

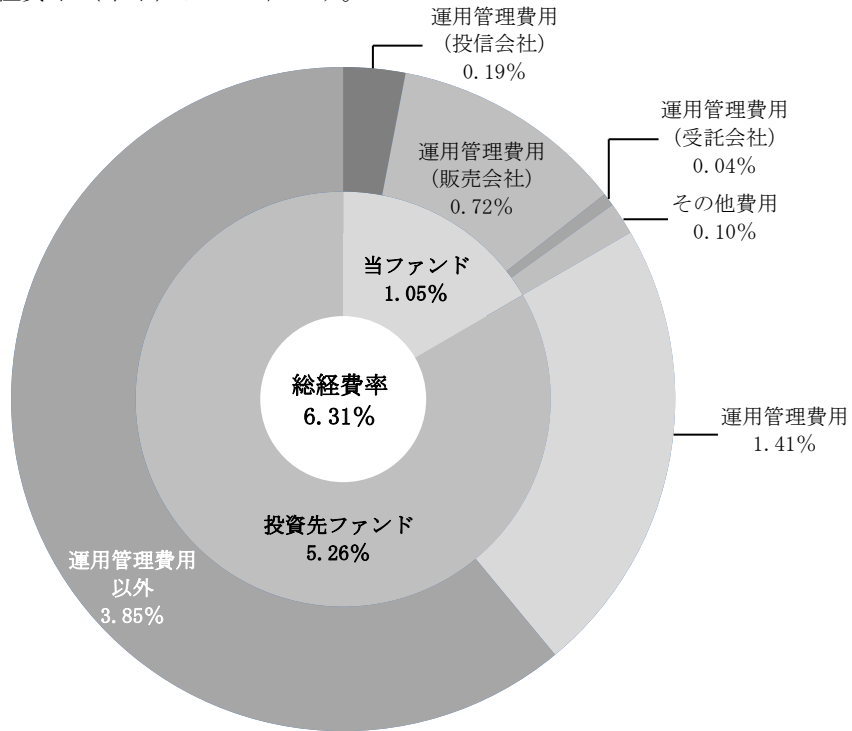
項 目	第109期～第111期 2025年11月11日～2026年5月11日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	66円	0.471%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(13)	(0.093)	・ ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(50)	(0.357)	・ 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.021)	・ ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	7	0.050	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(3)	(0.021)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.029)	・ 法定書類等の作成、印刷費用
合 計	73	0.521	
作成期中の平均基準価額は13,992円です。			

- (注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。（親投資信託を除く）

(参考情報)

○ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は6.31%です。



総経費率 (①+②+③)	6.31%
①当ファンドの費用の比率	1.05%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.41%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	3.85%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況 (2025年11月11日から2026年5月11日まで)

投資証券

銘 柄 名	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 —	千円 —	千口 4	千円 53,746

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2025年11月11日から2026年5月11日まで)

該当事項はありません。

■ 主要な売買銘柄 (2025年11月11日から2026年5月11日まで)

投資証券

買 付			売 付		
銘 柄	口 数	金 額	銘 柄	口 数	金 額
—	千口 —	千円 —	SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 4	千円 53,746

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年11月11日から2026年5月11日まで)

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種 類	当 作 成 期		
	買 付 額	売 付 額	当作成期末保有額
投 資 証 券	百万円 —	百万円 53	百万円 2,037

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年11月11日から2026年5月11日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2025年11月11日から2026年5月11日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2026年5月11日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		第36作成期末	第37作成期末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		千口 138	千口 134	千円 2,037,847	% 97.6
合 計	口 数 ・ 金 額	138	134	2,037,847	—
	銘 柄 数 < 比 率 >	—	—	1銘柄	<97.6%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第36作成期末	第37作成期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ス パ ー ク ス ・ マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 9,964	千口 9,964	千円 10,013

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当作成期末の受益権総口数は、9,974千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2026年5月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2026年5月11日現在)

項 目	第37作成期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	2,037,847	97.1
スパークス・マネー・マザーファンド	10,013	0.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	51,263	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,099,123	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第 109 期末 2026 年 1 月 13 日	第 110 期末 2026 年 3 月 10 日	第 111 期末 2026 年 5 月 11 日
(A) 資 産	1,891,399,790 円	1,870,342,369 円	2,099,123,259 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	55,948,189	69,827,503	51,261,975
スパークス・マネー・マザーファンド (評価額)	9,990,240	9,998,211	10,013,158
投 資 証 券 (評価額)	1,825,460,442	1,790,515,508	2,037,847,284
未 収 利 息	919	1,147	842
(B) 負 債	9,212,538	37,345,366	11,260,041
未 払 収 益 分 配 金	4,115,434	4,021,791	3,979,513
未 払 解 約 金	1,714,750	30,272,822	3,921,158
未 払 信 託 報 酬	3,067,463	2,770,796	3,049,995
そ の 他 未 払 費 用	314,891	279,957	309,375
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	1,882,187,252	1,832,997,003	2,087,863,218
元 本	1,371,811,650	1,340,597,199	1,326,504,666
次 期 繰 越 損 益 金	510,375,602	492,399,804	761,358,552
(D) 受 益 権 総 口 数	1,371,811,650 口	1,340,597,199 口	1,326,504,666 口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C／D)	13,720 円	13,673 円	15,740 円

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 作成期首元本額	1,396,473,413 円
作成期中追加設定元本額	6,880,858 円
作成期中一部解約元本額	76,849,605 円

■ 損益の状況

項 目	第 109 期		第 110 期		第 111 期	
	自 2025 年 11 月 11 日 至 2026 年 1 月 13 日		自 2026 年 1 月 14 日 至 2026 年 3 月 10 日		自 2026 年 3 月 11 日 至 2026 年 5 月 11 日	
(A) 配 当 等 収 益	9,057,781 円		8,820,973 円		8,800,248 円	
受 取 配 当 金	9,004,787		8,776,023		8,749,116	
受 取 利 息	52,994		44,950		51,132	
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	55,948,136		△ 8,133,578		272,625,354	
売 買 益	56,290,584		1,190,273		273,565,624	
売 買 損	△ 342,448		△ 9,323,851		△ 940,270	
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,382,354		△ 3,050,753		△ 3,359,370	
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	61,623,563		△ 2,363,358		278,066,232	
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	526,949,913		570,226,547		556,984,643	
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 74,082,440		△ 71,441,594		△ 69,712,810	
(配 当 等 相 当 額)	(55,672,040)		(55,338,471)		(55,700,335)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 129,754,480)		(△ 126,780,065)		(△ 125,413,145)	
(G) 合 計 (D+E+F)	514,491,036		496,421,595		765,338,065	
(H) 収 益 分 配 金	△ 4,115,434		△ 4,021,791		△ 3,979,513	
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	510,375,602		492,399,804		761,358,552	
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 74,082,440		△ 71,441,594		△ 69,712,810	
(配 当 等 相 当 額)	(55,672,040)		(55,338,471)		(55,700,335)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 129,754,480)		(△ 126,780,065)		(△ 125,413,145)	
分 配 準 備 積 立 金	584,458,042		571,974,976		831,071,362	
繰 越 損 益 金	0		△ 8,133,578		0	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項 目		第 109 期	第 110 期	第 111 期
費用控除後の配当等収益額	A	8,586,619円	5,770,220円	8,695,100円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	53,036,944円	－円	261,336,464円
収益調整金額	C	55,672,040円	55,338,471円	55,700,335円
分配準備積立金額	D	526,949,913円	570,226,547円	565,019,311円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	644,245,516円	631,335,238円	890,751,210円
当ファンドの期末残存口数	F	1,371,811,650口	1,340,597,199口	1,326,504,666口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	4,696.31円	4,709.35円	6,715.02円
1万口当たり分配金額	H	30円	30円	30円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	4,115,434円	4,021,791円	3,979,513円

■ 分配金のお知らせ

	1万口当たり分配金(税込み)
第109期	30円
第110期	30円
第111期	30円

- ◇ 分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払を開始しております。
- ◇ 分配金を再投資される方のお手取分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇ 課税上の取り扱い
 - ・ 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
 - ・ 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※ 詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めします。
 なお、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

■ お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」に変更するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

<変更適用日：2026年4月1日>

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型）が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

<参考情報>

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	BNP Paribas, Hong Kong Branch
受託会社代理人	BNP Paribas, Singapore Branch
保 管 会 社	BNP Paribas, Singapore Branch

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2026年5月8日現在)

外国株式等

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(アラブ首長国連邦市場)		百株	千UAEディルハム	千円		
FIRST ABU DHABI BANK PJSC		568	1,005	42,881	主要銀行	
小計	株数・金額	568	1,005	42,881		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 2.0% >		
(オーストラリア市場)		百株	千豪ドル	千円		
ARISTOCRAT LEISURE LTD		39	184	20,890	カジノ・ギャンブル	
CSL LTD		12	141	16,035	バイオテクノロジー	
TRANSURBAN GROUP		522	753	85,405	その他輸送	
XERO LTD		8	66	7,461	パッケージ・ソフトウェア	
小計	株数・金額	581	1,144	129,790		
	銘柄数<比率>	4銘柄	—	< 6.2% >		
(中国市場)		百株	千人民元	千円		
KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A		6	824	18,988	アルコール飲料	
小計	株数・金額	6	824	18,988		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.9% >		
(香港市場)		百株	千香港ドル	千円		
AIA GROUP LTD		742	6,426	128,684	総合保険	
ALIBABA GROUP HOLDING LTD		131	1,821	36,466	インターネット販売	
BINJIANG SERVICE GROUP CO LT		480	1,237	24,782	不動産開発	
CHINA STATE CONSTRUCTION INT		3,423	3,210	64,291	建設・土木	
FIRST PACIFIC CO		6,120	3,513	70,350	食品総合	
HAIER SMART HOME CO LTD-H		524	1,134	22,709	電化製品	
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR		66	2,800	56,068	投資銀行・ブローカー	
HSBC HOLDINGS PLC		360	4,993	99,996	主要銀行	
NWS HOLDINGS LTD		1,250	1,075	21,528	建設・土木	
SHENZHOI INTERNATIONAL GROUP		186	865	17,328	衣料・履物	
TENCENT HOLDINGS LTD		84	3,960	79,300	パッケージ・ソフトウェア	
小計	株数・金額	13,366	31,034	621,503		
	銘柄数<比率>	11銘柄	—	< 29.6% >		

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(インドネシア市場)		百株	千インドネシアルピア	千円		
BANK CENTRAL ASIA TBK PT		4,380	2,704,650	24,393	主要銀行	
TELKOM INDONESIA PERSERO TBK		11,839	3,504,344	31,605	無線通信	
小計	株数・金額	16,219	6,208,994	55,997		
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 2.7% >		
(インド市場)		百株	千インドルピー	千円		
BHARTI AIRTEL LTD		164	30,044	49,840	無線通信	
HDFC BANK LIMITED		223	17,446	28,941	主要銀行	
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA		119	21,715	36,023	特殊保険	
LEMON TREE HOTELS LTD		2,368	28,517	47,307	ホテル・リゾート関連	
SBI CARDS & PAYMENT SERVICES		327	21,119	35,036	金融・レンタル・リース	
小計	株数・金額	3,202	118,841	197,148		
	銘柄数<比率>	5銘柄	—	< 9.4% >		
(韓国市場)		百株	千韓国ウォン	千円		
HD HYUNDAI MARINE SOLUTION C		8	191,090	20,429	卸売業	
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD		55	1,529,598	163,523	通信機器	
小計	株数・金額	63	1,720,688	183,952		
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 8.8% >		
(フィリピン市場)		百株	千フィリピンペソ	千円		
RL COMMERCIAL REIT INC		4,615	3,184	8,235	不動産投資信託	
小計	株数・金額	4,615	3,184	8,235		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.4% >		
(サウジアラビア市場)		百株	千サウジアラビアリヤル	千円		
SAUDI AWWAL BANK		110	376	15,731	主要銀行	
小計	株数・金額	110	376	15,731		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.7% >		
(シンガポール市場)		百株	千シンガポールドル	千円		
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS		927	435	53,754	主要通信	
小計	株数・金額	927	435	53,754		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 2.6% >		

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(タイ市場)		百株	千タイバーツ	千円		
ADVANCED INFO SERVICE-NVDR		510	17,850	86,893	無線通信	
CP ALL PCL-NVDR		860	3,763	18,316	食品小売り	
KRUNGTHAI CARD PCL-NVDR		1,064	3,165	15,409	金融・レンタル・リース	
小計	株数・金額	2,434	24,778	120,617		
	銘柄数<比率>	3銘柄	—	< 5.7% >		
(台湾市場)		百株	千台湾ドル	千円		
91APP INC		570	3,739	18,659	パッケージ・ソフトウェア	
E INK HOLDINGS INC		70	1,134	5,659	コンピューター周辺機器	
EMEMORY TECHNOLOGY INC		80	34,680	173,054	半導体	
MEDIATEK INC		110	39,930	199,251	半導体	
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC		160	36,640	182,834	半導体	
小計	株数・金額	990	116,123	579,457		
	銘柄数<比率>	5銘柄	—	< 27.6% >		
合計	株数・金額	43,081	—	2,028,054		
	銘柄数<比率>	37銘柄	—	< 96.7% >		

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2025年11月8日
至 2026年 5月8日

(単位：千円)

収益		
受取配当金		23,718
受取利息		468
解約差益		0
その他収益		141
	収益計	24,328
費用		
支払利息		0
受託会社報酬		31,221
監査報酬		5,215
源泉税	△	6,311
管理運営会社報酬		13,616
管理事務報酬		1,156
設立費償却		0
その他費用		8,632
	費用計	53,530
純投資損益		△ 29,202
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益		
投資有価証券売買損益		141,196
為替差損益		21,894
		163,091
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減		
有価証券未実現純評価損益増減		210,012
為替未実現純評価損益増減		23,630
		233,643
営業活動による純資産の純増減額		367,532

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

スパークス・マネー・マザーファンド

第 18 期

決算日 2025年11月10日

(計算期間：2024年11月12日～2025年11月10日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主 要 投 資 対 象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主 な 組 入 制 限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額 5%以内とします。
分 配 方 針	収益分配は行いません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

＜ お問い合わせ先 ＞

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

最近5期の運用実績

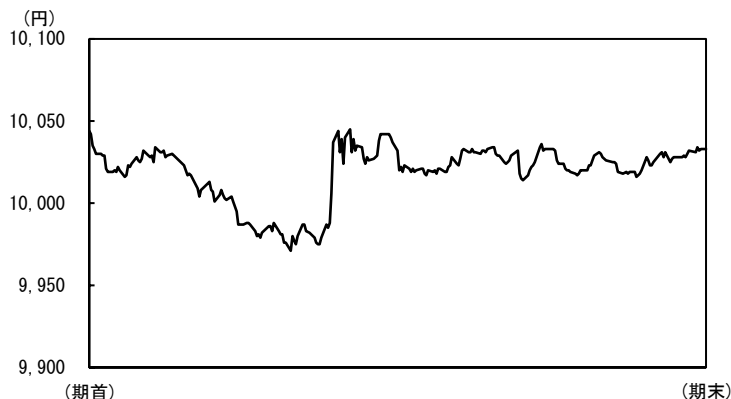
決 算 期	基 準 価 額		債 券 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		
	円	%	%	百万円
14期(2021年11月10日)	10,227	△0.1	98.8	10
15期(2022年11月10日)	10,152	△0.7	98.7	10
16期(2023年11月10日)	10,079	△0.7	98.7	10
17期(2024年11月11日)	10,044	△0.3	98.8	10
18期(2025年11月10日)	10,033	△0.1	98.7	10

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組入比率
		騰 落 率	
(期 首) 2024年11月11日	円 10,044	% —	% 98.8
11月末	10,020	△0.2	98.8
12月末	10,030	△0.1	98.8
2025年 1月末	10,002	△0.4	98.8
2月末	9,988	△0.6	98.8
3月末	9,987	△0.6	98.8
4月末	10,029	△0.1	98.8
5月末	10,020	△0.2	98.8
6月末	10,030	△0.1	98.7
7月末	10,023	△0.2	98.7
8月末	10,020	△0.2	98.7
9月末	10,016	△0.3	98.7
10月末	10,032	△0.1	98.7
(期 末) 2025年11月10日	10,033	△0.1	98.7

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額の推移



■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ 期中の売買及び取引の状況（2024年11月12日から2025年11月10日まで）

該当事項はありません。

■ 利害関係人との取引状況等（2024年11月12日から2025年11月10日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2024年11月12日から2025年11月10日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自らが設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2024年11月12日から2025年11月10日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細（2025年11月10日現在）

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,974千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
国 債 証 券	千円 10,000	千円 9,878	% 98.7	% —	% —	% —	% 98.7
合 計	10,000	9,878	98.7	—	—	—	98.7

- (注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 単位未満は切り捨て。—印は組み入れなし。
(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
国 債 証 券	第 3 4 7 回長期国債 1 0 年	% 0.1	千円 10,000	千円 9,878	2027/6/20
合 計		—	10,000	9,878	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況（2025年11月10日現在）

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成（2025年11月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 9,878	% 98.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	130	1.3
投 資 信 託 財 産 総 額	10,008	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	10,008,230 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	125,568
公 社 債 (評 価 額)	9,878,800
未 収 利 息	3,862
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	10,008,230
元 本	9,974,992
次 期 繰 越 損 益 金	33,238
(D) 受 益 権 総 口 数	9,974,992 口
1 万口当たり基準価額 (C／D)	10,033 円

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額 9,974,992 円
 期中追加設定元本額 —円
 期中一部解約元本額 —円
2. 期末元本の内訳
 スパークス・アジア中東株式ファンド (隔月分配型) 9,964,333 円
 スパークス・アジア中東株式ファンド (資産成長型) 10,659 円

■ 損益の状況

当期 (自2024年11月12日 至2025年11月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	10,273 円
受 取 利 息	10,273
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 20,900
売 買 損	△ 20,900
(C) 当 期 損 益 金 (A＋B)	△ 10,627
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	43,865
(E) 合 計 (C＋D)	33,238
次 期 繰 越 損 益 金 (E)	33,238

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

2025年4月1日付で以下のとおり投資信託約款の変更をいたしました。

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、当ファンドの投資信託約款に所要の変更を行いました。